



編集・発行 山見妙勢能 山見妙勢能  
日蓮宗 能勢部  
〒563-0132  
大阪府豊能郡野間中  
電話 072-739-0329  
FAX 072-739-2883

### 三人のよっぱらい

#### 新實信導

ある日、お釈迦さまが大勢のお弟子を従えて町を歩いていると、そこへ戒律を破って酒を飲み、よっぱらった三人の僧がやって来ました。

そのなかの一人は、お釈迦さまの一行を見ると恥ずかしくなってコソコソと走って草むらの中へと逃げ込んでしまいました。もう一人はキチンと地面に座って手で自分のほほをたたき、酔ってないふりをしてお釈迦さまに、「全然酔ってはいないのですが、失礼いたしました」と、頭を下げました。最後の一人は千鳥足で歩

きながら、お釈迦さまの前に立って、「べつに盗んだ酒を飲んだわけではありません」と開き直って言いま

した。お釈迦さまはお供の弟子たちに向かって、

「あの草むらの中へ逃げたよっぱらいは、しばらく修行すれば立派な人になることができよう。つぎにキチンと座ったよっぱらいは、悪い事と思いつつも、ごまかそうとしているから逃げたよっぱらいよりも後にはなるが、立派な人になることができよう。最後の開き直ったよっぱらいは、いつになつたら立派な人になれることやら。自分が悪いことを知らない人は、いつになつたら立派な人になれ

るか、私にも見当がつかない」とおっしゃいました。ふつう悪いことをして逃げる人の方が、素直に認めたり詫びる人よりも悪いと見なされます。しかし逃げ出したのは、もっとも信頼するお釈迦さまを前にして戒律を破ったことを恥て逃げたしまった訳です。羞恥心は自分が悪く、情けないと自覚している証拠であり、反省、悔悟も容易くまだ救

いがあるそうです。またお酒を飲んだという事よりも、戒律を破った、すなわちお釈迦さまとの約束を破ったという自分の非を認識することの必要さが理解できます。そして二度と約束を破らないよう心がけ、誓いをたてること

## 《法華經に学ぶ現代》

〜純智庵〜

### 國あり

### 娑婆と名く

### 是の中に

### 佛います

### 釈迦牟尼と

### 名けたてまつる

『如来神力品第二十一』

シャバというのはお経の言葉

意味はなんだと問われれば

それは今いるこの世界

地球全土と答えます

そして仏が語るには

今こそ耐えて忍ばねば

この世はオシャカ(無)になるのだと心に釘を刺すのです

### 【3月の主な行事】

- ☆報恩大祈禱会 3日(日)10時半  
荒行僧出仕による水行並びに特別加持祈禱を行います
- ★写経会 10日(日)11時
- ★月例祈願法要 15日(金)13時
- ★星嶺演奏会 17日(日)11時
- ★星嶺茶論 17日(日)13時
- ★春季彼岸会法要 22日(金)13時
- ★鷗様月例祭 22日(金)15時

### 【4月の行事予定】

- ★写経会 14日(日)11時
- ★月例祈願法要 15日(月)13時
- ★開運祭 20日(土)終日
- ※寺務所窓口にて開運守授与
- ★星嶺演奏会 21日(日)11時
- ★星嶺茶論 21日(日)13時
- ★鷗様月例祭 22日(月)15時
- ※火伏守札を授与
- ★星嶺祭 29日(祝)

11時30分 星の子パレード  
11時45分 子供祈願大法要  
※法要後は人形劇、太鼓演奏、ポニーに乗れるアトラクションや子供福引大会など。  
星嶺祭参加者募集!

☆星の子(祈禱料三〇〇〇円)  
参加希望者は11時に集合

### 《交通のご案内》

◆ケーブル&リフト冬季運休中  
3月16日(土)から毎日運行。

### 楽しく功德を積む方法

小林謙照

突然ですが『ロックバラ  
ンシング（石花）』ってご  
存知ですか？

古くから世界中で親しま  
れている、自然石を積み上  
げるバランスアートです。  
単純に石や岩を重ねたもの  
ですが、バランスをとるの  
が難しく、集中力を養うの  
にうってつけです。最近我  
が家でも流行りだして、時  
間を見つけては子どもたち  
と庭に転がっている石を積  
んで楽しんでいきます。石が  
あればどこでも、誰でもで  
きますので、ぜひチャレン  
ジしてみてください。

さて、子どもの石積み、  
といえば仏教では『賽の河  
原の石積み』のお話が思い  
浮かびますね。

親より先に死んだ子ども  
が、三途の川のほとり賽の  
河原で、石を積んでは鬼に  
崩され、積んでは崩されを

繰り返しますが、いずれ地  
蔵菩薩に救われるというお  
話です。この、子どもが作  
ろうとしている石積み（石  
塔）とは、法華経の方便品  
というお経の中に出てくる

「童子戯れに砂を集めて  
仏塔を造るも、みなすでに  
仏道を成す」という部分が  
元と言われており、超訳す  
ると「子どもが遊びで作っ  
た仏塔でも、功德があり成  
仏できる」といった意味に  
なっており、実は仏塔を作っ  
ているのだそうです。その功  
徳で、子どもの守り神であ  
る地藏菩薩と一緒に三途の  
川を渡ってくれて、彼岸に  
いけるのです。地藏菩薩  
はお釈迦様の入滅後、五十  
六億年後に弥勒菩薩が現れ  
るまでの間六道の衆生すべ  
てを救済する菩薩です。

我々一切衆生も仏様の  
『子ども』であり、賽の河  
原の子どもと同様に、地藏  
菩薩は我々のことも見守っ  
ていてくださいます。

秋に葉を落として、  
枯れ果てたかに見える  
木々がまた新緑に彩ら  
れる。死の世界からの  
復活を思わせる。日蓮  
宗大荒行堂成満出行の  
行僧もそんな復活を思  
わせる。ただ行僧の成  
満は単なる復活ではな  
い。日蓮聖人は「妙と  
は蘇生の義なり」と説  
示されるが単なる復活

### ☆☆☆☆星のたより☆☆☆☆

とは意味合いが違う。  
冬が春となるように単  
に暖かくなったという  
のではない。前の年と  
は違う新たな世界が開  
かれるというのが蘇生  
という言葉の意味だ。  
行僧にあやかり南無妙  
法蓮華経とお題目を信  
じ唱え仏に全てを委ね  
ることにより、新たな  
世界を開きたい。  
K.J

### 俳壇

（みのり）

髭のびて眼らんらん出行僧

北窓を開くやせまる小倉山

小流れに根芹ゆらゆら田圃径

沈丁花ほのかに匂ふ通学路

旅人のお国訛のなつかしく

### 法華経茶話

三草二木喩（二）

この三草二木の喩  
えでは、お釈迦様が  
ご自身の説法を、大  
小さまざまな草木に  
降り注ぐ雨に喩えて  
語られております。

草木は我々衆生を指しており  
ますが、その草木へ均等に雨  
が降り注いだとしても、草木  
の全てが同じ高さに成長する  
わけではありません。

お釈迦様の教えは「一味の  
法」と言われ、海水の辛さが  
同じ一つの味であるように、  
常に平等に説かれ、少しの差  
別もありません。しかし、教  
えは平等でも、それを聞く衆  
生の側は、自分に相応した力  
で受け止めるので、理解の程  
度は皆同じではありません。  
人の能力はそれぞれ異なり、  
環境も違いますが、大切な  
はお釈迦様の教えによって、  
個人差はそのままに、皆が等  
しく悟りを得ることができ  
るということを読みとることな  
のです。